

(小学生用)

糖尿病患児学校生活管理票

秘(糖尿病精密検査依頼及び学校生活管理指導表)

学校名	TEL	-	-
	TEL	-	-
	TEL	-	-
氏名			
性別	男 ・ 女		
生年月日	年	月	日生

年度	学年組	指導区分
年度	年組	
年度	年組	
年度	年組	
年度	年組	
年度	年組	
年度	年組	

学校における検尿の結果

年月日	第一次検尿					年月日	再検尿					備考
	蛋白	糖	潜血	白血球	PH		蛋白	糖	潜血	白血球	PH	
..						..						
..						..						
..						..						
..						..						
..						..						
..						..						
..						..						
..						..						

低血糖が起こったときの対応

程度	症状	対応
軽度	空腹感、いらいら、手がふるえる ※	グルコース錠2個 (40Kcal=0.5単位分。入手できれば、スティックシュガー10g)
中等度	黙り込む、冷や汗・蒼白、異常行動	グルコース錠2個 (あるいは、スティックシュガー10g) さらに多糖類を40~80kcal(0.5~1単位分)食べる。 (ビスケットやクッキーなら2~3枚、食パンなら1/2枚、) 小さいおにぎり1つなど 上記補食を食べた後、保健室で休養させ経過観察する。
高度	意識障害、けいれんなど	保護者・主治医に緊急連絡し、救急車にて主治医または近くの病院に転送する。救急車を待つ間、砂糖などを口内の頬粘膜になすりつける。

※ 軽度であっても低血糖がおこったときには、保護者・主治医に連絡することが望ましい。

主治医の先生へお願い

上記の者が健康診断の結果、学校医より精密検査を受けるよう指示がありましたので検診についてよろしく
お願いいたします。なお、健康管理や生活指導の資料といたしますので、検査結果を次のページに御記入の上、
保護者を通じて学校にお送りくださるようお願いいたします。

学校長

学校生活一般に関する注意事項

氏名()

記載日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
診断名				
身長	受診前に数値を学校で記入する	cm	受診前に数値を学校で記入する	
体重		Kg	受診前に数値を学校で記入する	
肥満度				
HbA1c				
現在の治療内容	1 インスリン注射1日 回 昼食前の学校での注射 (有 無) 学校での自己血糖値測定 (有 無)		1 インスリン注射1日 回 昼食前の学校での注射 (有 無) 学校での自己血糖値測定 (有 無)	
	2 経口血糖降下薬 (有 無) 薬品名 () 学校での服用 (有 無)		2 経口血糖降下薬 (有 無) 薬品名 () 学校での服用 (有 無)	
	3 食事・運動療法のみ		3 食事・運動療法のみ	
	4 受診回数 回/月		4 受診回数 回/月	
(基本的には健常児と同じ) 学校生活一般	食事にに関する注意		食事にに関する注意	
	1 学校給食 (制限なし・お代わりなし) その他 ()		1 学校給食 (制限なし・お代わりなし) その他 ()	
	2 補食 (食品名:) ・定時に 時 ・必要なときのみ ()		2 補食 (食品名:) ・定時に 時 ・必要なときのみ ()	
3 宿泊学習の食事 (制限なし・お代わりなし)		3 宿泊学習の食事 (制限なし・お代わりなし)		
指導区分	A・B・C・D・E		A・B・C・D・E	
	要管理	ブ運動ケ動ラ ()クラブ 可 (但し、)・禁	要管理	ブ運動ケ動ラ ()クラブ 可 (但し、)・禁
		受次診回 ()年()ヶ月後 または異常があるとき		受次診回 ()年()ヶ月後 または異常があるとき
	管理不要		管理不要	
診断医師名	病医院名	病医院名	病医院名	
	医師氏名	医師氏名	医師氏名	
おける学校・家庭に 注意等				

一注一 上記項目のうち必要と思われるものだけを記入してください。
 指導区分については、要管理か管理不要かについて該当する者に○をし、要管理の者についてのみ区分に○印をしてください。
 指導区分決定の目安は裏表紙の「学校生活指導管理表」によります。
 治療方針が変更した場合には、その都度記入してください。

学校生活一般に関する注意事項

氏名 ()

記載日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
診断名				
身長	受診前に数値 を学校で記入 する	cm	受診前に数値 を学校で記入 する	
体重		Kg		
肥満度				
HbA1c				
現在の治療内容	1 インスリン注射1日 回 昼食前の学校での注射 (有 無) 学校での自己血糖値測定 (有 無)		1 インスリン注射1日 回 昼食前の学校での注射 (有 無) 学校での自己血糖値測定 (有 無)	
	2 経口血糖降下薬 (有 無) 薬品名 () 学校での服用 (有 無)		2 経口血糖降下薬 (有 無) 薬品名 () 学校での服用 (有 無)	
	3 食事・運動療法のみ		3 食事・運動療法のみ	
	4 受診回数 回/月		4 受診回数 回/月	
(基本的には健常児と同じ) 学校生活一般	食事に関する注意 1 学校給食 (制限なし・お代わりなし) その他 ()		食事に関する注意 1 学校給食 (制限なし・お代わりなし) その他 ()	
	2 補食 (食品名:) ・定時に 時 ・必要などきのみ ()		2 補食 (食品名:) ・定時に 時 ・必要などきのみ ()	
	3 宿泊学習の食事 (制限なし・お代わりなし)		3 宿泊学習の食事 (制限なし・お代わりなし)	
指導区分	A・B・C・D・E		A・B・C・D・E	
	要管理	ブ運動ク動ラ ()クラブ 可 (但し、)・禁	要管理	ブ運動ク動ラ ()クラブ 可 (但し、)・禁
		受次 ()年()ヶ月後 診回 または異常があるとき		受次 ()年()ヶ月後 診回 または異常があるとき
	管理不要		管理不要	
診断医師名	病医院名 医師氏名		病医院名 医師氏名	
おける学校・家庭に 注意等				

-注- 運動部活動欄の記入について

- ・ 学校差、個人差が大きいことを考えると運動の種目のみによって参加の可否を決定できませんので、それぞれの児童の学校の部活動の状態を確認して記入してください。
- ・ すべての運動部に期限なく参加できる場合には、運動種目や参加内容を規定せず、「可」に○印をし、期限がある場合には () 中に参加できる活動を記入してください。
- ・ 選手としての参加のほかに、記録係や強い身体活動を要求されない担当部署への参加もあることを考え、参加形態の条件付きで、CやD区分の児童にも参加の機会を与えてください。

学校生活管理指導表 (小学生用)

(指導区分A…在宅医療・入院が必要 B…登校はできるが運動は不可 C…軽い運動は可 D…中等度の運動まで可 E…強い運動も可)

体育活動		運動強度		軽い運動 (C・D・Eは“可”)	中等度の運動 (D・Eは“可”)	強い運動 (Eのみ“可”)
運動	※体づくり運動	体ほくしの運動 多様な動きをつくる運動遊び	1・2年生	体のバランスをとる運動遊び (寝転ぶ、起きる、座る、立つなどの動きで構成される遊びなど)	用具を操作する運動遊び (用具を投げ、蹴る、回す、転がす、くぐるなどの動きで構成される遊びなど)	体を移動する運動遊び (這う、走る、跳ぶ、はねるなどの動きで構成される遊び)
	陸上運動系	体ほくしの運動 多様な動きをつくる運動	3・4年生	体のバランスをとる運動 (寝転ぶ、起きる、座る、立つ、ケンケンなどの動きで構成される運動など)	用具を操作する運動 (用具をつつむ、持つ、回す、降ろす、ななむなどの動きで構成される遊びなど)	力試しの運動(人を押す、引く動きや力比べをすすめる動きで構成される運動)
	陸上運動系	体ほくしの運動 体力を高める運動	5・6年生	体の柔らかさを高める運動(ストレッチングを含む)、軽いウォーキング	力みな動きを高めるための運動 (リズムに合わせての運動、ボール、輪、棒を使った運動)	運動(基本的な動きを組み合わせた運動) (短なわ、長なわ跳び、持久走)
	陸上運動系	走・跳の運動遊び	1・2年生	いろいろな歩き方、ゴム跳び遊び	ケンパー・跳び遊び	全力でのかけっこ、折り返しレーン遊び
	陸上運動系	走・跳の運動	3・4年生	ウォーキング、軽い立ち幅跳び		全力でのかけっこ、周回レーン、小型ハードル走
	陸上運動系	陸上運動	5・6年生			短い助走での連続跳び及び高跳び 全力での短距離走、ハードル走
	ボール運動系	ゲーム、ボールゲーム 短遊び(低学年)ボール型、ネット型 ベースボール型ゲーム(中学年)	1・2年生 3・4年生	その場でボールを投げたり、つかったり、捕ったりしながら行ったりする遊び 基本的な操作 (パス、キャッチ、キック、ドリブル、シュート、バツティングなど)		ゲーム(試合形式)
	器械運動系	器械器具を使った運動遊び	1・2年生	ジャンガムを使った運動遊び		マット、鉄棒、跳び箱を使った運動遊び
	器械運動系	器械運動、マット 跳び箱、鉄棒	3・4年生 5・6年生	基本的な動作 マット前転、後転、器倒立、ブリッジなどの部分的な動作 跳び箱(前回り下り)などの部分的な動作 鉄棒(前回り下り)などの部分的な動作		連続技や組合せの技
	水	水遊び	1・2年生	水に慣れる遊び (水かけっこ、水につかっつての電車ごっこなど)		水につかっつてのりレーン遊び、バツピング、ボビングなど
泳	浮く・泳ぐ運動	3・4年生	浮く運動(伏し浮き、背浮き、くげ浮きなど)		補助具を使ったクロール、平泳ぎのストロークなど	
系	水泳	5・6年生	泳ぐ動作(ばた足、かえる足など)		クロール、平泳ぎ	
表現運動系	表現リズム遊び	1・2年生	まねっこ遊び(鳥、昆虫、恐竜、動物など)		リズム遊び(弾む、回る、ねじる、スキップなど)	
表現運動系	表現運動	3・4年生 5・6年生	その場での即興表現		変化のある動きをつなげた表現(ロック、サンバなど)	
雪遊び・氷上遊び、スキー、スケート、水辺活動	雪遊び、氷上遊び		雪遊び、氷上遊び		強い動きのある日本の民謡	
文化	文化活動		体力が必要な長時間の活動を除く文化活動		スキー・スケートの滑走など	
学校行事、その他の活動	学校行事、その他の活動		▼運動会 体育祭、球技大会、スポーツフェスタなどは上記の運動強度に準ずる ▼指押区分、E以外の生徒の遠足、宿泊旅行、修学旅行、林間学校、臨海学校などの参加については不明な場合は学校医・主治医と相談する。 ▼陸上運動系、水泳系の距離(学習指導要領参照)については、学校医・主治医と相談する。		右の強い活動を除くほとんどの文化活動	体力を相当使って歌(楽器(トランペット)、トロンボーン、オーボエ、バサーン、ホルンなど)、リズムのかわる曲の演奏や指揮、行進を伴うマーチングバンドなど
指導区分の範囲	指導区分の範囲					

定義 (軽い運動) 同年齢の平均的児童にとって、ほとんど息がはずまない程度の運動。
 (中等度の運動) 同年齢の平均的児童にとって、少し息がはずむが息苦しくない程度の運動。パートナーがいれば楽に会話ができる程度の運動。
 (強い運動) 同年齢の平均的児童にとって、息がはずみ息苦しさを感ずるほどの運動。
 ※体づくり運動：レジスタンス運動(等尺運動)を含む。